

平成29年度 事業報告

1. 事業の概要

平成29年度、わが国経済は、景気拡大の期間が高度経済成長期にあった「いざなぎ景気」を超え、戦後2番目の長さとなりました。あわせて、労働市場全般にわたって「人手不足」が叫ばれる中、新卒予定者の就職内定率や有効求人倍率に改善が見受けられたものの、日常生活においては、さほど好景気感が感じられない状況も依然として続いています。

このような中、公益社団法人高槻市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、8月に設立35周年を迎えるとともに、設立以来の会員登録が延べ1万人に到達するなど、慶事が重なる年度となりました。

一方、会員数については高齢化率が進展しているにもかかわらず減少傾向が見られ、「会員数拡大」が引き続き喫緊の課題となっています。

このような状況を踏まえ、会員数拡大については、これまでのパンフレットの個別配布に加え、街頭での「会員募集ティッシュ」配布や「会員1人紹介活動」キャンペーンを通年で展開するとともに、高槻市主催のイベントに参画し、入会説明会の出張案内を行うなど、会員獲得にむけた新たな取組を進めました。その結果、前年度比で若干の微増となりましたが、回復基調とは言い難い状況です。

また、より多くの会員に就業いただけるよう、就業機会創出員による企業や一般家庭への就業開拓活動など、就業機会の獲得にも努めました。特に平成29年度は、「介護予防」や「配送業務」といった、いわゆる「人手不足」分野の事業所をターゲットとした結果、新たな就業・就労の確保につながりました。

なお、全般的な受注契約状況におきましては、適正就業の確保や受注減のため、件数及び金額が、残念ながら前年度実績を下回りました。

次に安全対策ですが、平成28年度にセンター1階に新たに設置した「情報コーナー」を引き続き活用するとともに、「ヒヤリ」など安全就業に対する新たな脅威についても、いち早く情報を提供し、充実を図りました。

独自事業としては、リサイクル養土「たかちゃん」の販売をイベント等で行い、シルバー事業のPRにつなげました。

加えて、平成29年度に高槻市が開始した「介護予防・日常生活支援総合事業」には、事業開始当初から事業所指定を受ける形で参入し、これまで取引のなかった「地域包括支援センター」にも積極的に訪問するなど、新たな関係を築く中でセンターのPRに努めました。これらの取組から、「介護予防・日常生活支援総合事業」や「介護保険周辺業務」のニーズに的確に答えていくことが、今後、センターの新たな使命と考えられます。

これらの新しい役割とこれまでセンターに期待されてきた役割をバランスよく整合させること及び会員各位の「生きがい」と「地域のニーズ」を的確に結ぶことを今後

の目標に据え、会員と事務局職員が連携をこれまで以上に密にし、より一層、地域社会に貢献できるセンターとなるよう努めてまいります。

平成29年度における取組実績等は次のとおりです。

項 目	平成29年度	平成28年度	増 減
会 員 数	1,134人	1,127人	7人
就業実人員数	971人	1,011人	△40人
年間就業率	85.6%	89.7%	△4.1%
受注契約件数	6,344件	6,699件	△355件
契 約 金 額	49,948万円	51,817万円	△1,869万円

以上が平成29年度の事業概要の報告ですが、各事業の実施報告の詳細は、次のとおりです。

2. 事業実施報告

(1) 会員数の拡大と会員の意識向上

① 会員の意識の把握

- ・ 班別会議での意見や窓口での会員の生の声を聴き、会員の意識を把握することに努めました。

② 女性会員の拡大

- ・ 「会員1人紹介活動」キャンペーンの啓発チラシで「女性会員を増やす」方法についての提案を募り、女性会員の増加に努めました。

③ 情報発信

- ・ 「設立35周年」と「会員登録延べ1万人達成」を機会あるごとに発信し、センターの普及啓発に努めました。
- ・ これまでの「会報」「事務局だより」「安全就業通信」「ホームページ」に加え、高槻市ホームページや「月刊シルバー人材センター」などに積極的に出稿し、「新規メディア」の開拓に取り組みました。
- ・ 職員プロジェクトを立ち上げ、新たな「チラシ」等の考案に取り組みました。
- ・ 高槻市営バスへのポスター掲示や街頭での「啓発ティッシュ」の配布をとおして、会員募集やセンターのPRに努めました。特に、ホームページについては、一層のアピールを目指して動画も導入しており、「より見やすいものを」と心がけました。

④ 会員の意識改革

- ・ センターの会員であることの意識づけの一つとして、平成26年度からセンターのロゴの入ったジャンパーとベストを作成し、会員に貸与していますが、引き続き就業先の了解を得て、就業時に着用してもらうように依頼しました。

(2) 就業機会の開拓、拡大及び提供

① 企業や個人家庭への訪問等

- ・担当職員が取引事業者を訪問した時や就業機会創出員が企業や個人家庭へ訪問する中で、パンフレットの配布やセンター事業のPRに努めました。特に平成29年度は、「介護予防」や「配送業務」といった「人手不足」業種をターゲットにした結果、配送仕分け業務等で新たな受注が生まれ、就業・就労機会の拡大につなげることができました。

② 独自事業の充実

- ・独自事業であるリサイクル養土「たかちゃん」の販売については、センターや「高槻市農林業祭」など市のイベントにも参加する中で実施し、2,985袋を販売しました。

③ 新たな軽作業の検討

- ・平成29年度に高槻市から事業所指定を受け、参入した「介護予防・日常生活支援総合事業」の相乗効果として、現在行っている地域密着型業務（簡単な営繕、大型ゴミ搬出の手伝い等一般家庭での仕事）の受注拡大を図りました。

④ 就業需要の調査研究

- ・高齢者にふさわしい仕事が創出できないかを近隣シルバー人材センターの状況を参考に検討するとともに、就業機会創出員会議の場で会員からの「仕事創出アイデア」募集制度について検討しました。

⑤ 就業相談の充実

- ・毎月第3・第4木曜日に開催している就業相談では、延べ34人の相談に応じました。

(3) 事業運営の安定

① 事務費率の改定

- ・事務費率の改定については、センターの財務状況や資産状況に加え、大阪府内のシルバー人材センターの動向を見る中で検討し、平成30年4月から、8%に改定することを決定しました。

② 補助金の確保

- ・補助金の確保については、高齢化社会におけるセンターの社会的役割について、引き続き国及び高槻市に理解を求めた結果、市については所要の支援を受けるとともに、国については補助事業内容等の変更により増額となりました。

(4) 普及啓発事業の推進

① フェスティバルの開催及び参加

- ・高槻市独自のフェスティバルを11月に開催するとともに、池田市で開催された北摂7市3町合同のシルバーフェスティバルに参加し、センターの普及啓発に努めました。

② 各種イベントへの参加

- ・毎年春・秋の2回、高槻市が開催している「環境美化推進デー」に会員及び

事務局職員がボランティアとして積極的に参加し、街の美化に貢献するとともにセンターのPRにも努めました。

- ・長寿介護課が主催した「健幸まつり2017」にブースを設けて参画するとともに「入会説明会予約」の出張案内を行いました。
- ・11月12日に行われた高槻市農林業祭実行委員会主催の「第44回高槻市農林業祭」に参加し、センターのPRに努めました。
- ・産業振興課が平成29年度に幹事市となった「三市一町合同就職フェア」に「相談コーナー」のブースを設けて、就業・就労相談を行いました。

③ ホームページ及び高槻市広報誌による情報発信

- ・独自のホームページをタイムリーに更新することにより、新しい情報の迅速な発信に努めました。
- ・講習会や研修中の様子を動画で発信するなど、内容充実に努めました。
- ・機会あるごとに市の広報誌やケーブルTV、高槻市ホームページや「月刊シルバー人材センター」に出稿してセンターのPRに努めました。

④ 会員への情報提供

- ・会員とセンターとの共通認識を深めるため、年2回の「会報」及び年5回の「事務局だより」をはじめ、適時の「安全就業通信」を発行し、会員への情報提供にも努めました。
- ・職員が「地域班別会議」「職群班会議」「植木就業者全体会議」「公園管理就業者会議」等に参加し、センターの受注状況及び会員入退会状況などの現状をお伝えし、理解を深めていただくよう、情報提供に努めました。

⑤ 就業機会創出員によるPR

- ・就業機会創出員は企業や事業所に訪問し、就業機会の拡大に繋がっていますが、平成29年度は、特に介護や運輸といった「人手不足」の事業所をターゲットとした訪問に努めた結果、新たな就業・就労に繋がりました。

(5) 技能の向上を図る講習会などの実施

① 講習会の実施

- ・発注者のニーズに応えるため、就業に必要な技能を習得するための植木剪定、草刈機械講習会や交通安全講習会などの独自講習会を開催し、会員の知識や技能の向上と後継者の育成に努めました。特に、草刈機械講習会では、座学で理論を学んだ後、実技研修に入るなど、より実践的な人材育成となるよう、ここ数年、内容の充実に努めています。

(6) 安全・適正就業の推進

① 安全管理体制の充実

- ・安全確保を就業の最優先課題とし、平成28年9月に示された「適正就業ガイドライン」の内容を踏まえた「安全・適正就業推進基本計画」を策定する中で、全会員が安全に就業できるよう、その強化推進を図りました。

- ・就業先での安全の啓発はもとより、センター自体が高齢者の集う施設であることから、安全管理体制のより一層の充実を図るため、平成28年度に事務所に新たに設置したAEDを啓発する取組として、5月と6月に「普通救命講習」をセンターで実施しました。

② 事故防止措置の徹底

- ・機械刈りによる事故防止のため、9月14日・15日に草刈り機械操作講習会を開催し、安全意識の高揚と事故の減少に努めました。

③ 安全意識の普及と啓発

- ・「安全就業通信」を適時発行し、事故情報の提供や安全就業委員会の取組などを伝える中で、会員の安全就業に対する意識の啓発に努めました。
- ・7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、全会員への啓発に努めるとともに、7月13日には植木剪定及び機械除草の就業会員と安全就業委員会委員とが就業先の安全対策について懇談を行いました。特に29年度はこれまでの「熱中症・蜂・茶毒蛾・デング熱・ジカ熱・ダニ」等の対策に加え、新たに「ヒアリ」など、最新の脅威への安全対策についても確認しました。
- ・高槻警察署及び長寿介護課の協力を得て、1月19日、高槻現代劇場（市民会館）にて交通安全及び健康管理の講習会を開催しました。

④ 健康管理意識の高揚

- ・適時発行の「安全就業通信」の毎号で「年1回の健康診断受診」を呼びかけるとともに、センター1階に平成28年度に設置した「健康情報」の配架棚にチラシ等を置き、情報提供の充実に努めました。

⑤ 適正な就業

- ・「適正就業ガイドライン」を引き続き啓発する意味で、1階の掲示板に「ガイドライン」を掲示し、全会員に周知をはかるとともに、取引先事業所にも配布して、ローテーション就業やワークシェアリングと同様、適正就業についての理解を求めました。

(7) 組織体制の整備、強化及び活性化

① 専門部会の充実

・総務部会

事業年度計画の策定、予算の適切な執行、事務費率の改定の検討、諸規定の整備など事業全般の管理及び運営の推進に努めました。

・事業部会

厳しい経済情勢の中、受託業務内容の分析と拡大への検討を行うとともに、適正就業の推進にも取り組みました。

また、独自事業においては、リサイクル養土「たかちゃん」の販売を行い、2,985袋を完売しました。

・安全部会

「安全・適正就業推進基本計画」の策定、「安全・適正就業強化月間」の

取組、「安全就業通信」の発行、植木剪定及び機械除草就業者と安全就業委員会委員との懇談会の開催、交通安全及び健康管理並びに草刈り機械操作等の講習会の開催など、安全就業の推進に向けて積極的な取組を展開しました。

・広報部会

年2回の会報の発行やホームページの管理を行い、普及啓発に努めました。

② 地域班活動や職群班活動の活性化

・事務局職員参加のもと各地域の班別会議を開催し、会員相互の連帯意識の向上と親睦を図るとともに、情報交換を行いました。また、「事務局だより」などの各種印刷物の会員への配布も行いました。

(8) 労働者派遣事業の推進及び有料職業紹介事業の検討

① 労働者派遣事業の推進

・労働者派遣事業については、大阪府シルバー人材センター協議会と連携し、民間9件を実施しました。

・就業実人員	53人	・就業延人員	3,355人
・会員賃金	11,278,574円	・手数料等	1,568,807円

② 有料職業紹介事業の検討

・平成29年度は、該当がありませんでした。

(9) 事務局体制の整備

① 職員の研修参加等スキルアップ

・公益社団法人の職員としての自覚を持ち、職務に精励できるよう、全国シルバー人材センター事業協会、大阪府シルバー人材センター協議会の主催する研修に参加するとともに、大阪府シルバー人材センター協議会北部ブロック事務局長会が主導する「役員研修」「管理職研修」「中堅職員研修」「新任職員研修」に積極的に参加しました。

② 会員との意思疎通の推進

・職員が会員の就業先に巡回した時や「地域班別会議」「職群班会議」「植木就業者全体会議」「公園管理就業者会議」等への出席時、あるいは「窓口での対応」や「就業相談（月2回）」など、会員と接する機会の中で、センターへの日頃感じている具体的な意見を拝聴し、意思疎通の推進に努めました。

(10) 事故発生状況

① 傷害事故

ア 就業中	10件(転倒3件：蜂刺傷2件：切傷3件：挟まれ1件：転落1件)
イ 就業途上	5件(転倒4件：交通事故1件)

② 賠償事故

ア 就業中	8件(損壊7件：紛失1件)
-------	---------------

(11) 会議等の開催状況

① 定時総会・監査

会 議	開 催 日	主 な 内 容
定時総会	平成29年5月31日	・平成28年度事業報告について ・平成28年度収支決算報告並びに監査報告について ・理事長に対する権限委任について ・理事の選任について ・監事の選任について ・平成29年度事業計画について ・平成29年度収支予算について
監 査	平成29年4月18日	・平成28年度事業監査・会計監査について
中間監査	平成29年10月26日	・平成29年度事業中間監査・会計中間監査について

② 理事会

会 議	開 催 日	主 な 内 容
第1回	平成29年4月28日	・平成28年度事業報告について ・平成28年度収支決算報告並びに監査報告について ・役員候補者について ・表彰状の贈呈について ・平成29年度定時総会について ・事務規程の一部改正について
第2回	平成29年5月31日	・理事長の選定について ・副理事長の選定について ・常務理事の選定について
第3回	平成29年9月21日	・職員就業規程の一部改正について ・非常勤職員就業要綱の一部改正について ・臨時職員就業要綱の一部改正について ・平成29年度収支補正予算（第1号）案について
第4回	平成29年11月27日	・個人情報の保護に関する法律の改正に伴う個人情報保護方針等の改正について ①個人情報保護方針の全部改正について ②個人情報の保護に関する規程の一部改正について ・平成29年度中間決算について

第5回	平成30年2月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度収支補正予算（第2号）案について ・平成30年度事業計画(案)について ・平成30年度収支予算(案)について ・職員給与規程の一部改正について ・非常勤職員就業要綱の一部改正について ・臨時職員就業要綱の一部改正について ・理事及び監事候補者選考委員会委員の補充について
-----	-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

③ 専門部会

種別	主な協議内容
総務部会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業報告 ・平成28年度決算報告 ・諸規程等の改正 ・役員候補者 ・表彰状の贈呈 ・定時総会 ・平成29年度収支補正予算(第1号) (第2号) (案) ・平成29年度中間決算 ・事務費率の改定 ・個人情報の保護に関する法律の改正に伴う個人情報保護方針の改正 ・平成30年度事業計画 (案) ・平成30年度収支予算 (案) ・理事及び監事候補者選考委員会委員の補充
事業部会	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実績 ・就業状況 ・派遣事業 ・受注拡大と適正就業推進 ・「たかちゃん」販売 ・緑化フェア ・農林業祭 ・新規独自事業
安全部会	<ul style="list-style-type: none"> ・事故 ・安全・適正就業強化月間 ・自動車(自転車)の運行 ・熱中症対策 ・健康診断の受診 ・就業会員との懇談会 ・「安全就業通信」発行 ・植木剪定、草刈機械講習会 ・大シ協安全就業大会 ・交通安全及び健康管理講習会 ・大シ協安全・適正就業推進委員会
広報部会	<ul style="list-style-type: none"> ・会報発行 ・ホームページの運営 ・フェスティバル

④ 委員会等

種 別	主 な 取 組
地 域 委 員 会	・全地域班長会議 ・班別会議 ・フェスティバル ・定時総会
安 全 就 業 委 員 会	・安全・適正就業強化月間 ・自動車と自転車運行 ・熱中症予防と健康診断受診 ・安全就業委員と就業会員との懇談会 ・交通安全及び健康管理講習会 ・植木剪定、草刈機械講習会
理事及び監事候補者選考委員会	・役員候補者の選考
会 報 編 集 委 員 会	・会報（年2回）の作成、発行
ホームページ運営委員会	・ホームページの運営
フェスティバル実行委員会	・フェスティバルの企画・検討・運営

(12) 執行体制

役 員	理事長1人 副理事長1人 理事15人（内 常務理事1人） 監事1人
事 務 局	事務局長1人
	庶務・経理 事務局次長1人 職員1人 臨時職員1人
	業 務 主査1人 職員1人 非常勤職員3人 臨時職員1人